

2020 年度
安全マネジメント実施計画書

イースタンエアポートモータース株式会社

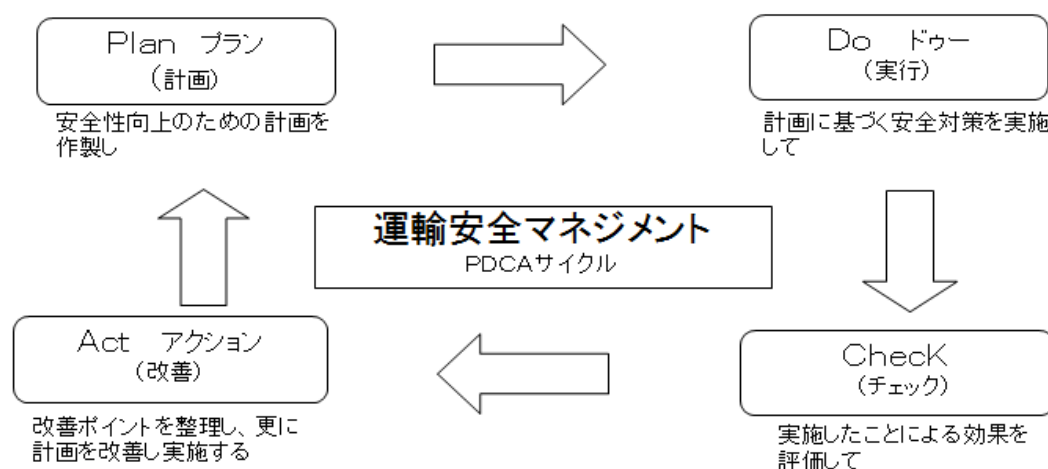
2020 年 4 月 1 日

運輸安全マネジメント

イースタンエアポートモータース株式会社

輸送の安全を確保するために、代表及び取締役（以下「経営トップ」という。）主導による新たな仕組み（安全マネジメント）づくりを推進し、安心・安全で健全な会社運営を目指す。

「安全マネジメント」とは、輸送の安全確保が最も重要であるという意識を、経営トップから現場の乗務社員まで浸透させ、輸送の安全に関する計画の作成・実行・チェック・改善（いわゆるPDCAサイクル）を活用して、会社全体の安全確保・向上を継続的に行うもの。



◇ 次の7項目の取り組みを行う。

- ① 経営トップは、輸送の安全の確保のため、次に掲げる事項について、主体的に関与し、組織全体の安全管理体制を構築し、適切に運営する。
- ② 関係法令等の遵守と安全最優先の原則を徹底する。
- ③ 安全方針を徹底する。
- ④ 安全統括管理者、その他経営管理部門で安全管理に従事する者(以下「安全統括管理者等」という。)に、指示するなどして、安全重点施策を策定する。
- ⑤ 安全統括管理者等に指示するなどして、重大な事故等への対応を実施する。
- ⑥ 安全管理体制を構築・改善するために、かつ、輸送の安全を確保するために、安全統括管理者等に指示するなどして、必要な要員、情報、車両及び施設が使用できるようにする。
- ⑦ マネジメントレビューを実施する。

5W1Hの手法による具体的な実施運営

ヘン	When (いつ)	ホット	What (なにを)
ヘヤ	Where (どこで)	ホイ	Why (なぜ)
フ	Who (だれが)	ハウ	How (どのようにして)

両備グループ安全マネジメント宣言

社会正義の経営方針に則り、交通運輸各社は「運輸安全マネジメント」に基づき「安全」を最優先とし、「日本一安全な運輸企業」を目指して頑張ることを宣言します。

両備グループ代表 小嶋 光信

1 活動方針

両備グループSSP・UPセンター、タクシーユニット教育安全推進室、両備グループ安全マネジメント委員会、及び両備グループ各社や外部機関の教育と、SSP・u p運動などを通じ、安全方針に則った安全重点施策を徹底し、数値目標を設定して、効果的な安全マネジメント体制を構築する。

2 S・S・P・u p 運動の実施

S=safety&security(安全),

S=service(サービス),

P=productivity(生産性),

u p=(向上)

3 両備交通四悪 絶対禁止の実施

飲酒運転・酒気帯び運転

個人用携帯電話・スマホルール違反

免許証不携帯

居眠り運転

4 SAFTY-OK の実施

S：スピード出しません

A：安全車間保ちます

F：踏切止まります

T：追突しません

Y：よそ見しません

O：追い越し注意します

K：交差点内徐行します

輸送の安全に関する基本方針及び目標の設定

事業所名 イースタンエアポートモータース株式会社
代表者名 代表取締役兼COO 藤原 寛治

輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 安全運転を第一とし、法令順守し、基本に忠実に日々業務を遂行すること。
- (2) 車両の整備を的確に行い、日常点検を厳正に行うこと。
- (3) 点呼において、日々安全への啓蒙、関心を高めること。
- (4) 教育を通じて安全意識を常に涵養すること。
- (5) 万が一重大事故の場合、人命尊重を第一に対処し、速やかに上司、関係機関への連絡をとること。

輸送の安全を確保するための重点施策

両備グループ安全マネジメント委員会スローガン

「コミュニケーションで築こう 安全文化」 「基本動作の徹底」

「一人一人が監督者 注意しあえる大切な仲間」

- (1) 運輸安全マネジメント制度に基づいて、継続的な内部監査実施による問題点の把握と必要な是正措置の実施
- (2) 「止まる習慣・見る習慣・安全第一・迅速第二」の徹底
- (3) 現場要員の資質向上のための教育
- (4) 点数制度の有効活用による、安全運行体制の確立
- (5) 事故予防対策の実施
 - ① KYT訓練の実施
 - ② 有責事故者の全員面談の実施
 - ③ ヒヤリ・ハット情報の共有化による危険個所の周知

輸送の安全に関する目標の設定

1.事故件数

2020年度目標

交通事故発生件数 10万キロ当たり0.03件以下
(総事故を前年の半減)

2.輸送の安全に関する予算額

2020年度予算額合計	10,000,000円
① 輸送の安全の設備・機器に関する予算額	8,000,000円
② 輸送の安全に関する教育予算額	2,000,000円

輸送の安全に関する実施方針(目標を達成するための計画)

- 計画(1) タクシーユニットSSPUP戦略会議において、管理者が安全取組PDCAを発表しマネジメントレビューを行う
- 計画(2) 交通事故、クレーム、飲酒検知、運行管理、欠勤等の違反と無事故、お礼、燃費、生産性等の称揚を点数化して個別管理する両備タクシーグループ点数制度を活用し、社員に対する指導・処分や称揚を行い選ばれるハイヤー企業を目指す。
- 計画(3) 安全管理規程第8条による適切なグループ組織体制により、各管理者の職務を明確にし、社員に対する指導を常に行う。

※輸送の安全確保に関する装置機器類について積極的に導入を計画する。

- 計画(4) デジタルタコグラフの取り付けの継続
全車に対し、購入時からのデジタコ装着を継続する。
- 計画(5) バックモニターの取り付けの継続
ハイグレード車へのバックモニター装着を継続する。その他必要と判断される車両。
- 計画(6) ドライブレコーダーを標準装備
国土交通省認可仕様の常時記録型ドライブレコーダーの装着を継続
- 計画(7) 最新型車両への代替の促進
新規購入車両について、最新安全運転装置装備車両を検討購入。
- 計画(8) スタッドレスタイヤの代替の促進
計画に基づき代替を促進する。
- 計画(9) 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じる。
※内部監査は次表を計画する。

番号	実施する監査	時期・回数	内容等
1	内部監査員監査	1回／年	安全マネジメント実施状況等の点検
2	安全統括管理者点検	随時	上記実施項目ほか
3	タクシーユニット監査役監査	随時	
4	タクシーユニット財務監査	随時	
5	両備グループ安全マネジメント委員会監査	随時	

計画(10) 安全に関する情報の連絡・共有

- ① 有効なヒヤリ・ハット情報を提示し、情報の共有化を図る。同時にグーグルマップを利用して情報共有化を推進する。(継続)
- ② 交通事故発生の場合、事故発生から24時間以内に教育安全推進室への速報の義務付け。(継続)
- ③ 交通事故発生の場合、事故発生から3時間以内に事故・失態等対応基準により、経営トップに報告を義務付け。(継続)
- ④ 労働災害発生の場合も同じく、事故発生から24時間以内に総務担当者へ速報の義務付け。(継続)
- ⑤ 交通事故・労働災害等発生した場合、事故発生事業所・事故の種類・当該事故惹起者・事故の概況・現場見取り図・事故の想定できる原因等記載した「事故速報」または「タクシーユニット事故報告書」を事業所へ掲示。(継続)
- ⑥ 車両に出された「リコール」「対策」「サービスキャンペーン」等の情報については、事業用自動車リコール対応基準により、不良箇所を記載した情報を入手次第、適切な処置を実施し走行中のトラブル及び事故の防止を図る。(継続)
- ⑦ 国土交通省のメールマガジンを掲示し、情報の共有化を図る。

計画（11）安全に関する教育及び研修

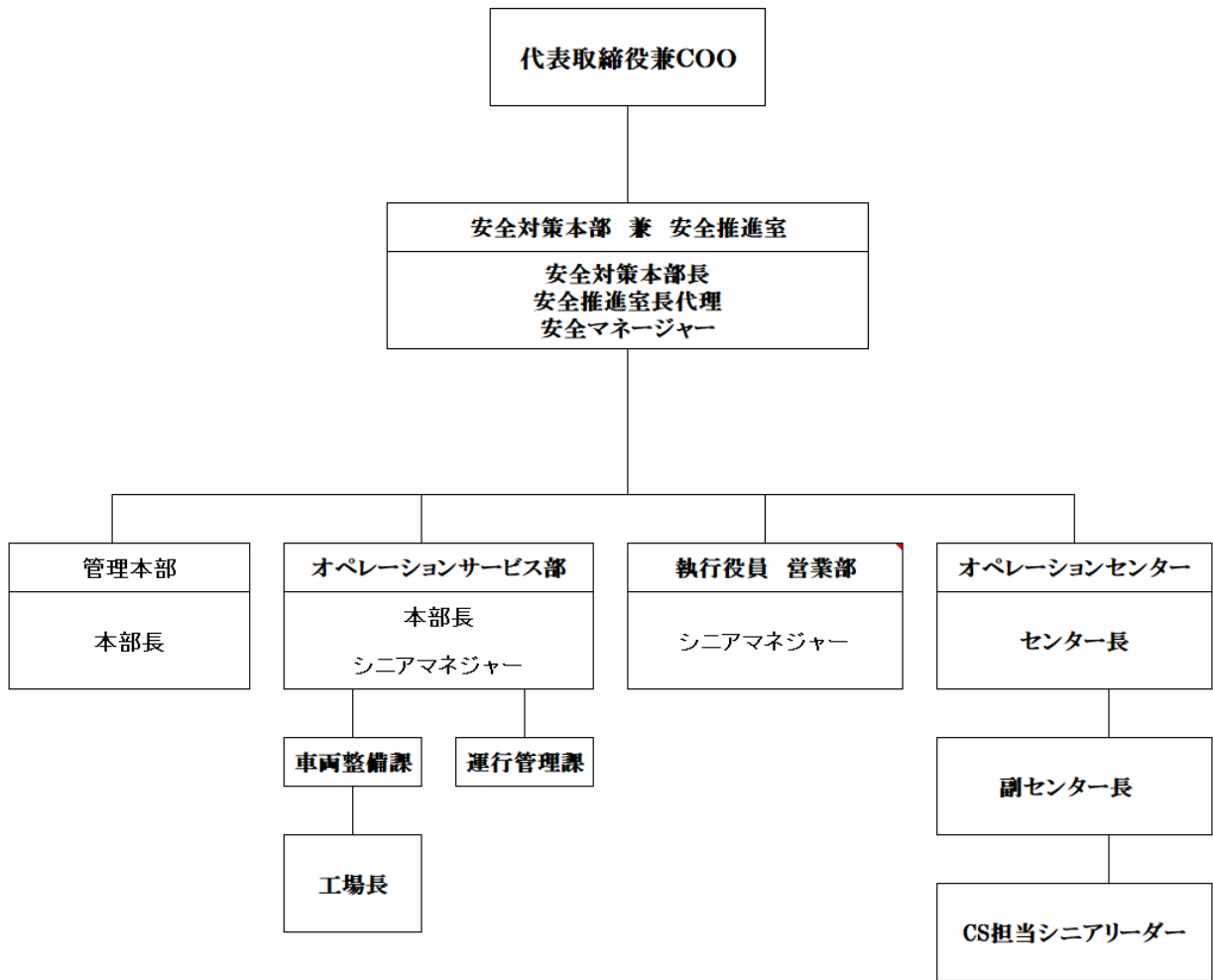
【現業部門】（すべての研修において嘱託・パート社員も対象）

教育・研修名	対象者	内容	適用
新人ハイヤー乗務社員研修	新人ハイヤー乗務社員 (EAM内)	安全・サービスの実務知識 技術・技能の習得と訓練	約30日
新任ハイヤー乗務社員フォロー【安全運転基礎応用訓練】研修	新人乗務社員 (EAM内)	乗務後の実務フォロー 安全運行と接客がメイン	1.5時間～3時間
新任ハイヤー乗務社員フォロー【危険予知トレーニング】研修	新人乗務社員 (EAM内)	乗務後の実務フォロー 安全運行と接客がメイン	1.5時間～3時間
新任ハイヤー乗務社員フォロー研修【繁忙期対策】	新人乗務社員 (EAM内)	乗務後の実務フォロー 安全運行と接客がメイン	1.5時間～3時間
事故予防訓練	入社2年以内 (タクシーユニット共通)	運転基本動作の習熟	2時間（基本実技訓練）
再発防止訓練【事故頻度別】	事故惹起者 (タクシーユニット共通)	安全確認実技訓練	3時間
外部講師を招いての研修	事故惹起者 (タクシーユニット共通)	安全運転知識の習得	1.5時間
事故惹起者個別面談	事故惹起者 (タクシーユニット共通)	面談による個別指導	1.5時間
ケア・タクシードライバー研修（初級）	全乗務担当社員 (タクシーユニット共通)	介助スキルの習得	3時間
クレーム多発者個別指導	クレーム多発者 (タクシーユニット共通)	ヒアリングと動機づけ	1時間

【管理部門】（すべての研修において嘱託・パート社員も対象）

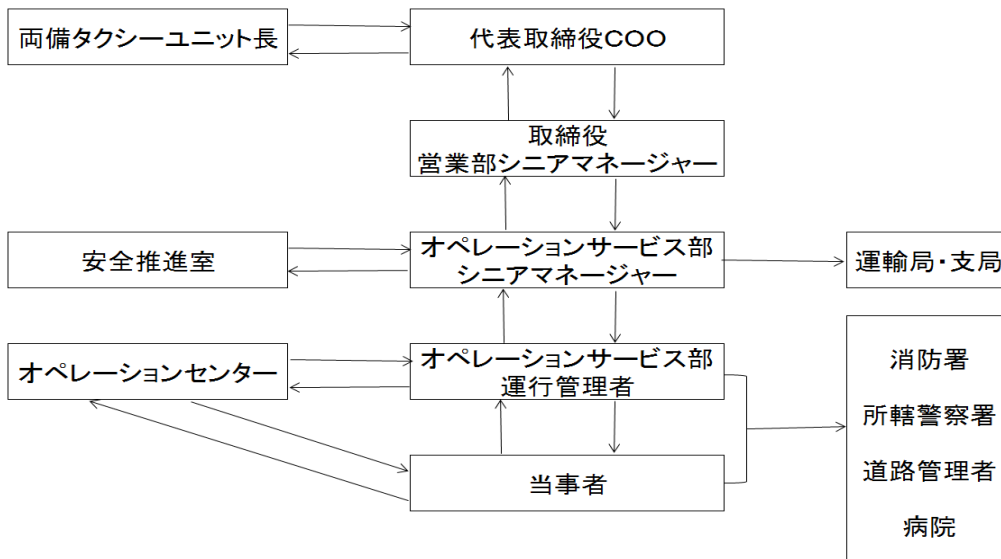
教育・研修名	対象者	内容	適用
新入社員基礎研修	事務系新入社員 総合交通キャリア職 （両備グループ共通）	社会人の基本マナー 基礎知識	両備グループ新入社員の合同研修 （人材育成センター主催研修）
両備グループ キャリアパス研修	事務系社員 （両備グループ共通）	キャリアパス設定科目	両備グループ資格要件研修 （人材育成センター主催研修）
タクシーユニット キャリアパス研修	事務系社員 （タクシーユニット共通）	法務・財務・運行管理の 基本知識	タクシーユニット内研修
現場要員研修	現場要員 （タクシーユニット共通）	営業所長・次長の職務 安全マネジメント制度の概要	タクシーユニット内研修 管理者の実務研修
安全指導員研修	安全指導員等 （EAM内）	安全指導のスキル向上 NASVA等で実施	3時間
内部監査員研修	内部監査員 （タクシーユニット共通）	内部監査要領と実務 知識の習得	タクシーユニット内研修 基本は社内講師。
その他業務上 必要な研修	事務系社員 総合交通キャリア職 （タクシーユニット共通）	例：マナー研修等	タクシーユニット内研修 基本は社内講師。 必要であれば外部講師

イースタンエアポートモーターズ(株) 安全管理体制

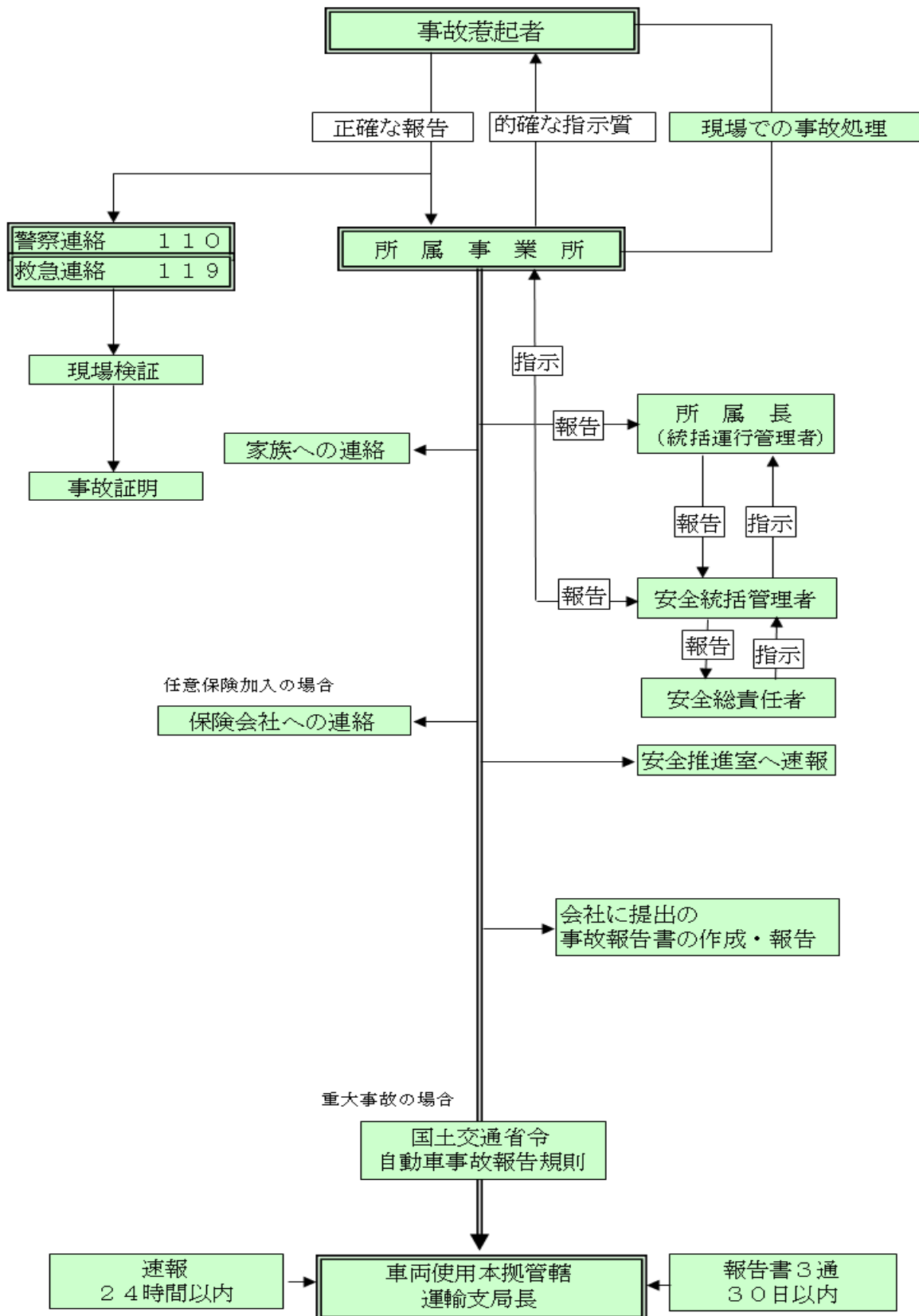


連絡報告体制図

イースタンエアポートモーターズ(株)



イースタンエアポートモータース(株) 事故処理と報告



2020年 安全管理規程に基づくチェックリスト

1. 目標管理・監査及び競技会他

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	摘要
目標管理	10万キロ当たりの事故件数【単月】													教育・安全推進室資料
	10万キロ当たりの事故件数【累計】													教育・安全推進室資料
	有責事故件数													教育・安全推進室資料
	総事故件数													教育・安全推進室資料
	事故速報													教育・安全推進室資料
監査	内部監査員監査													1回以上/年
	安全統括管理者点検													随時
	タクシーユニット監査役監査													随時
	タクシーユニット相互監査													随時
	タクシーユニット財務監査													随時
	両備グループ監査室監査													随時
	※ 国土交通省マネジメント評価												※岡山交通のみ	
巡回活動	街頭指導の日 (安全推進室が主導し、各営業所長等が、全社街頭パトロールと不適格運転者の指導)													随時
競技会	S S P u p コンテスト													関東大会7月18日予定 岡山大会9月19日予定

2. 研修

社内実施の研修（社内ルール、就業規則、添乗教育等）														
新人ハイヤー乗務社員研修(EAM内)														
新任ハイヤー乗務社員フォロー【安全運転基礎応用訓練】研修(EAM内)														
新任ハイヤー乗務社員フォロー【危険予知トレーニング】研修(EAM内)														
新任ハイヤー乗務社員フォロー研修【繁忙期対策】(EAM内)														
安全指導員研修（管理部門）(EAM内)														
タクシーユニット本部・タクシーユニット教育安全推進室実施の研修及び施策														
事故予防訓練														
再発防止訓練【事故頻度別】														
外部講師を招いての研修														
事故惹起者個別指導														
ケア・タクシードライバー研修														
クレーム多発者個別指導														
タクシーユニットキャリアパス研修（管理部門）														
現場要員研修（管理部門）														
内部監査員研修（管理部門）														
その他業務上必要な研修（管理部門）														
両備グループ研修														
新入社員基礎研修（管理部門）														
両備グループキャリアパス研修（管理部門）														